



街の活性化に独創性発揮

(株)泉設計代表取締役
(一社)県建築士事務所協会 住宅委員長

當間 卓さん(51)



とうま たかし

1963年与那原町生まれ。87年、日本大学理工学部建築学科卒業。89年、同大学院修了。同年、(株)前川國男建築設計事務所(東京都)入所。94年、(株)泉設計事務所に入所し96年に常務取締役、2002年に代表取締役就任。一級建築士、建築コスト管理士、日本建築家協会沖縄支部理事、沖縄県建築士事務所協会理事、沖縄県建築士会会員。問い合わせは電話098(832)1302

人が集う住まい造り

好きな言葉は「大胆細心」「初志貫徹」。前者は高校野球に没頭していた当時の監督、裁弘義さんのモットー。後者は日本近代建築の旗手と称された建築家・前川國男さんから学んだ。両人が故人となった今でも、2人の教えは建築士の仕事をする上で常に意識している。

「社長になって営業をする上では大胆な行動と細心の注意が必要。前川先生の写真は仕事机の上に置いて毎日眺め、気持ちを引き締めている」

當間さんの活動は多彩だ。出身地の与那原町では空き店舗の目立つ通りに軽トラックを運搬、荷台に農家直送野菜や手作り豆腐、豚肉加工品などを並べて販売している。連なる荷台がかつて走っていた軽便鉄道を想起させることから「軽便市」と名づけ、往年のにぎわいを呼び戻したいと汗を流す。

「建築士の仕事は建物を造るだけじゃない。街並みを造り、人を呼び込み、街を活性化させないと」。人がたくさん集い活気があふれるからこそ、住まいも生きてくる。雑貨店も経営し、若手芸術家の発表の場、販売の場を提供している。

今月17日(金)開幕のトータルリビングショーでは「設計者を一緒に探しませんか」と銘打って、40歳未満の建築士が参加する住宅設計コンペティションを行い、住宅建築を考えている人との橋渡しをする。人材育成にも貢献する取り組みだ。

同リビングショーでは昨年同様、ユーザーアンケートも行う。準備された「いいね」シートを各テーマごとの解答欄に参加者が貼り付けていく方式を考案。独創的な発想で回収率がアップし、ユーザーの志向が一目で分かる好評だ。

視線はアジアにも向いている。ベトナムに進出している県内企業の工場のリニューアル計画を、日本建築家協会と連携して手掛けている。「蒸暑地域でのエコな住宅は日本、沖縄が最先端。アジアで実績を積み重ねることでノウハウを蓄積したい」と意欲的だ。